

令和2年度 裾花幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

かしこく・つよく・あたたかく

「いっぱい遊んで、元気に挑戦!!」 ～心が動く子を育てたい～

2. 本年度の重点目標

- (1) 遊びを広げたり、深めたりできる子どもの育成
- (2) 豊かな感性と表現力を持つ子どもの育成

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- (1) 先生方が意識の高いところで、子どもたちの様子を見て頑張っている様子が、自己評価からうかがえた。ただ、これらの評価改善を追求していくあまりに、子どもが置いてきぼりにならないよう、子どもに寄り添った教育、指導をしてほしい。
- (2) 先生方が、いろいろな思いで子どもたちに向き合ってくれていること、改善点を探しながらより良い教育をしようとする意識を感じた。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 今年度は、子どもや職員へのコロナウイルス感染防止が大きな課題であった。状況や気候に合わせながら子ども安全を第一に考えた活動について、保護者にお便りやメールで頻繁に詳しく変更内容をお知らせして、ご協力いただいたことで、感染防止を実現できた。
- (2) 現在の園目標は目標内容が多いのでまとめた方がいいという意見や重点目標を見直した方がよいとの意見が職員から出た。園目標の焦点化、それに見合った重点目標の見直しを今後行っていきたい。
- (3) 活動を重ねた中で、「子どもの感性や育ちをきちんととらえてよりよい環境作りにつなげる」ことの重要性が見えてきた。今後も、職員の力量向上のため「子どもをとらえる」研修を計画実施していきたい。